

終戦6年後の昭和26年4月に原爆落下中心地近くに、長崎市営大橋球場が完成。長崎日日新聞社(現長崎新聞社)との共催による県下都市対抗軟式野球大会が9月に開催された。当初は10地区代表の軟式球使用大会だったが3回(28年)大会から15回(40年)までの13年間は準硬式球を使用し、13~15回大会の3年間は8チーム参加と制限された。

長崎国体(44年)翌年の第20回大会に10地区参加となり、上五島単独(49年)や平戸・松浦・北松の分離(51年)。諫早・北高に大村・東彼らの分離(54年)、島原・南高の分離(57年)等を経て16支部+推薦チーム参加の大会となったが、平成の市町村大合併で平成17年に北高来郡が消滅し15支部となった。

会場は大橋球場をメインに三菱球場や長崎商高球場を使用していたが、大橋が老朽化で解体(平成7年)。県営野球場ビッグN(平成9年竣工)、市営かきどまり野球場(10年)の2会場使用から、近年は諫早市営球場の3会場を使用している熱戦が行なわれている。

第1回大会から68回の歴史の中での偉業は、大会6連覇したのが2チーム。軟式が復活した翌年の昭和42年~47年の三菱重工長崎。親和銀行は平成元年から6年まで6連覇したがソニー長崎に7連覇を阻まれた。また平成21年から26年まで6連覇達成し、第65回大会において二度目の7連覇に挑んだが、二回戦でTEAM橋口から阻まれ大偉業は成らず。

また、軟式が復活した昭和41年以降の大会の優勝チームは長崎市や佐世保市からのチームが殆んどだったのが、昭和53年の第28回大会では4年前の昭和49年に福江南松地区から単独となった上五島代表の『奈良尾クラブ』が優勝したのも特筆もので、近年では同地区の舛田グループが二度の決勝戦進出を果たしている。

第60回(H22年)記念大会では最大の23チームが参加し、第67回大会からは推薦のA級チーム+15支部代表の参加となり、名実共に『県選手権』大会となっている。

### 長崎県軟式野球選手権大会の歴代優勝(準優勝)チームと決勝戦スコア

回	年	参加	優勝チーム(回数)	決勝戦	準優勝チーム(回数)	回	年	参加	優勝チーム(回数)	決勝戦	準優勝チーム(回数)				
1	26	10	日鉄御橋炭鉱	4-2	長崎刑務所	35	60	17	親和銀行	4	1-0	三菱重工長崎	2		
2	27	10	日鉄御橋炭鉱	2	4-2	下川商事	36	61	17	親和銀行	5	8-2	三菱重工長崎	3	
3	28	10	共済病院	4-1	住友潜龍炭鉱	37	62	17	親和銀行	6	4-0	三菱重工長崎	4		
4	29	9	住友潜龍炭鉱	14-5	十八銀行	38	63	17	長崎県経済連	1-0	親和銀行	6			
5	30	9	住友潜龍炭鉱	2	2-1	長崎機械工具	39	元	17	親和銀行	7	1-0	長崎県経済連		
6	31	10	長崎澱粉	2-0	長崎機械工具	2	40	2	17	親和銀行	8	1-0	大村市役所		
7	32	11	紋珠岳炭鉱	3-2	長崎県庁	41	3	16	親和銀行	9	3-0	中興化成工業	2		
8	33	9	西肥バス	2-1	端島炭鉱	42	4	17	親和銀行	10	1-0	JA長崎経済連	2		
9	34	11	親和土建クラブ	2-0	西肥バス	43	5	17	親和銀行	11	3-1	生月体協			
10	35	10	長崎機械工具	3-2	日鉄北松御橋	44	6	17	親和銀行	12	9-1	JA長崎経済連	3		
11	36	10	日本冷熱工業	7-1	長崎機械工具	3	45	7	16	ソニー長崎	3-1	三菱重工長崎	5		
12	37	11	日本冷熱工業	2	6-1	長崎機械工具	4	46	8	17	三菱重工長崎	10	1-0	ソニー長崎	
13	38	8	日本冷熱工業	3	5-0	澱粉クラブ	47	9	17	親和銀行	13	1-0	ソニー長崎	2	
14	39	8	日本冷熱工業	4	4-2	九州電工佐世保	48	10	17	親和銀行	14	5-0	ソニー長崎	3	
15	40	8	日本冷熱工業	5	3-1	九州電工佐世保	2	49	11	17	三菱重工長崎	11	1-0	親和銀行	7
16	41	8	長崎県庁	1-0	親和銀行	50	12	17	三菱重工長崎	12	3-2	親和銀行	8		
17	42	9	三菱重工長崎	1-0	長崎県庁	2	51	13	17	親和銀行	15	2-0	三菱重工長崎	6	
18	43	8	三菱重工長崎	2	7-0	親和銀行	2	52	14	17	三菱重工長崎	13	1-0	親和銀行	9
19	44	10	三菱重工長崎	3	3-0	長崎県庁	3	53	15	17	親和銀行	16	5-4	三菱重工長崎	7
20	45	12	三菱重工長崎	4	6-0	福江球友会	54	16	17	親和銀行	17	8-0	三菱重工長崎	8	
21	46	12	三菱重工長崎	5	4-1	長崎県庁	4	55	17	16	三菱重工長崎	14	7-0	TEAM橋口	
22	47	12	三菱重工長崎	6	5-1	松早石油店	56	18	16	親和銀行	18	8-2	三菱重工長崎	9	
23	48	10	カワシモスポーツ	2-1	諫早ドックプラザ	57	19	16	三菱重工長崎	15	4-0	TEAM橋口	2		
24	49	12	長崎県庁	2	3-0	長崎無線電報局	58	20	19	アイケン医院	3-0	舛田グループ			
25	50	11	三菱重工長崎	7	3-0	諫早クラブ	59	21	16	親和銀行	19	4-3	三菱重工長崎	10	
26	51	14	親和銀行	1-0	三菱重工長崎	60	22	23	親和銀行	20	3-1	アイケン医院			
27	52	14	三菱重工長崎	8	4-1	有明町クラブ	61	23	16	親和銀行	21	7-0	(株)南原		
28	53	14	奈良尾クラブ	5-3	中興化成工業	62	24	16	親和銀行	22	3-0	三菱重工長崎	11		
29	54	16	長崎日野自動車	1-0	親和銀行	3	63	25	19	親和銀行	23	7-4	三菱重工長崎	12	
30	55	16	長崎日野自動車	2	3-1	親和銀行	4	64	26	19	親和銀行	24	1-0	三菱重工長崎	13
31	56	16	長崎日野自動車	3	2-1	親和銀行	5	65	27	16	三菱重工長崎	16	7-0	舛田グループ	2
32	57	17	親和銀行	2	2-0	長崎日野自動車	66	28	16	親和銀行	25	5-2	三菱重工長崎	14	
33	58	17	親和銀行	3	2-0	有明町クラブ	2	67	29	19	親和銀行	26	2-0	JF長崎漁連野球部	
34	59	17	三菱重工長崎	9	7-1	長崎無線電報局	2	68	30	18	親和銀行	27	6-0	三菱重工長崎	15